

第5次地域福祉活動計画の理念

「誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり」

複雑・複合化する生活課題に寄り添い、多様な住民が互いの意思や個性を認め合い、共に支え合いながら暮らしていく地域共生社会を目指す活動の根本的な考え方として第5次地域福祉活動計画においても大切にしていきたい理念です。

第5次地域福祉活動計画のスローガン

「出会って つながって 対話して
一人ひとりが自分らしさを発揮できるまち吹田」

第4次地域福祉活動計画で大切にしてきた「出会い」や「つながり」を第5次地域福祉活動計画においても継承しながら、「対話」を重視し、多様な主体である地域住民一人ひとりが互いを認め合いながら自分らしく暮らすことができる地域共生社会を体現した地域づくりを目指すという思いを込めています。

第5次地域福祉活動計画の実施計画

第5次地域福祉活動計画は、スローガンのもと、4つの大項目と12の中項目で構成されています。第4次地域福祉活動計画の評価や地域の声を反映し、変化する生活課題に柔軟に対応できるよう設計しました。具体的な取り組みについては、他機関・住民と連携して推進していきます。

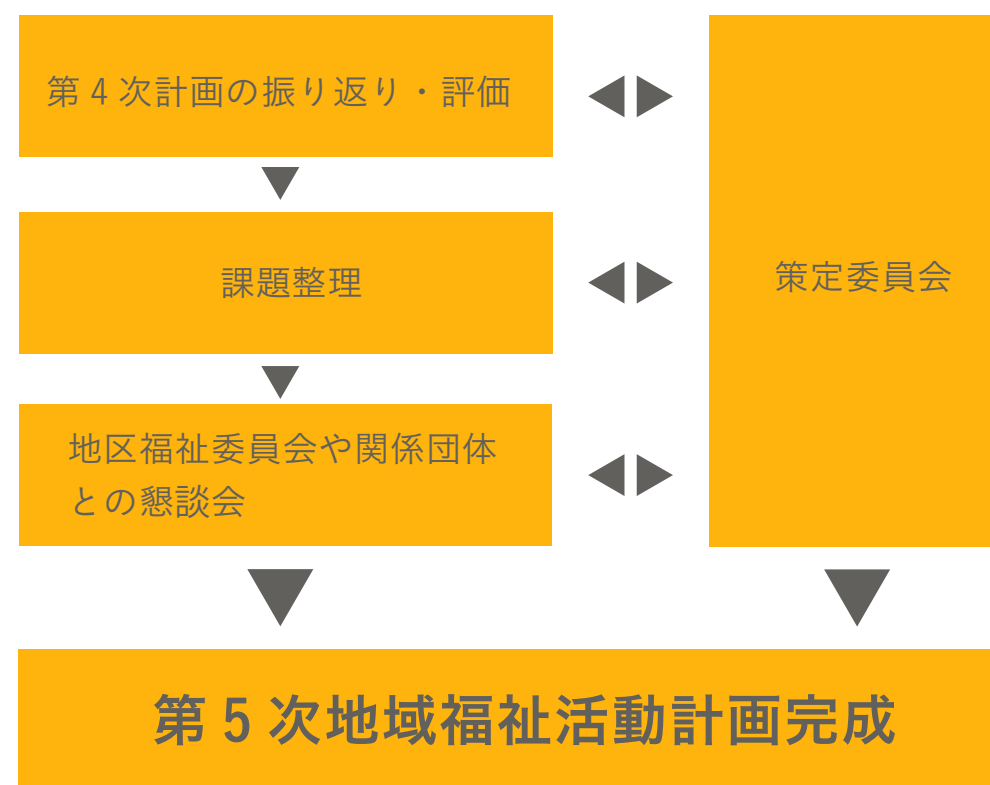
地区福祉委員会 5か年計画

吹田市内には、おおむね小学校区を単位として、33の地区福祉委員会が組織され、地域福祉の実践組織として、支え合い・助け合い活動の「小地域ネットワーク活動」に取り組んできました。

第1次計画から地区福祉委員会と共に計画を策定してきましたが、今回も全ての地区において計画が策定され、地区の実状に合わせた活動が進められます。

第5次地域福祉活動計画の策定プロセス

計画の中心は地域住民の皆さんの声！



懇談会実施回数

のべ 21回

懇談会のべ参加者数

のべ 339人

懇談会のべ参加団体数

のべ 161団体

懇談会での意見

日頃から災害を意識したつながりが大切

子どもたちの居場所について検討したい

社協をプラットフォームにして、他団体とつながりたい



社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会

〒564-0072 大阪府吹田市出口町 19-2

☎ 06-6339-1205

📠 06-6170-5800

✉ suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp



@SUITA_SYAKYO

出会って

つながって

対話して

一人ひとりが
自分らしさを
発揮できるまち

吹田



吹田市社会福祉協議会
第5次地域福祉活動計画
地区福祉委員会 5か年計画

概要版



社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会



第5次地域福祉活動計画の実施計画（アクションプラン）

実際の取り組み例はこちら

大項目

中項目

1

支え合う



住民が自分らしく生活できる地域づくりを目指し、地域福祉活動やボランティア活動への参加の機会を提供し、住民同士の交流や学びの場を創出します。地域生活や地域福祉活動がより豊かになるよう取り組みます。

- ① 身近な地域での支え合い活動の活性化
- ② 多様な主体が参画する仕組みづくり
- ③ 共に生きる福祉の心の育成
- ④ 地域で活動している人や団体のつながりの深化、協働の促進



幅広い世代の活躍の促進 ▲



多世代の交流の機会づくり ▼

自ら考える福祉教育 ▲

2

認め合う



吹田には、さまざまな生きづらさや生活課題を抱えた人たちがいます。生活課題の解消に向け、一人ひとりに合ったサポートを行います。生きづらさを抱えながらも、地域の中でつながりを持ち、お互いを認め合い、自分らしく生活できる地域づくりを目指します。

- ① 一人ひとりに寄り添う支援
- ② みんなが生きがいやつながりを感じられるまちづくり
- ③ 地域のさまざまな機関や団体と連携



専門職による相談支援 ▲



気軽に参加できる居場所づくり ▲

3

響き合う



広報を通じて地域福祉活動を知り、関心を持ち、そして参加・参画してもらえよう、効果的な情報発信に努めます。一方的に伝える広報ではなく、相手に「伝わる」こと、相手の気持ちに「響く」ことを目指した広報を行います。

- ① 「ふだんのくらしのしあわせ」が広がる情報発信



地域の情報を発信 ▲



Instagramでの情報発信 ▲

4

高め合う



吹社協において職員体制や組織構成会員制度の充実を図るなど、互いを高め合いながら、組織運営基盤を強化します。災害への備えや安定した財源確保、本計画を意識した事業運営を通じて、地域の皆さんにとって身近な、信頼される組織であるよう努めます。

- ① 地域福祉推進のための組織の基盤強化
- ② 災害に強い組織づくり
- ③ 地域福祉活動を充実させるための財源確保、善意の循環
- ④ 対話を大切にした計画の進行管理



災害に関する協定締結 ▲



「すいこれ」による対話 ▲



学生による募金活動 ▶